

みんなの SDGs

虫のフンと木くずがまざったものをフラスといいます。



クビアカツヤカミキリのひがい(サクラ)とフラス 提供：埼玉県環境科学国際センター

⚠ きんきゅう つうほう ⚠

サクラやモモの近くでこんな虫、木くずを見かけたら…

クビアカツヤカミキリは、もともと日本にいなかった外来種（とくでい外来生物）です。サクラやモモ、ウメなどの木のみきの中をくいあらし、からしてしまいます。県内ではまだ見つかっていませんが、となりのいばらき県ではひがいが出ています。

クビアカツヤカミキリの「しいく」「生きたままのうんぱん」はきんしされています。もし見つけたら、すぐにれんらくしてください！



特定外来生物

クビアカツヤカミキリ
成虫 オス 提供：同左

福島県ちよう かんきようほぜん農業か 024-521-7342
しぜんほごか 024-521-7210

Check! 市民活動



(前左) 半澤 代表理事 (後左) 加藤 理事
(前右) 浜田 副代表理事 (後中) 齋藤 理事
(後右) 富田 理事
よろしくお願いします！

特定非営利活動法人 伊達市民活動支援協議会

令和8年度通常総会開催 & 理事が交代しました



6月21日(日)に特非)伊達市民活動支援協議会の通常総会が開催されました。総会では、2025(令和7)年度活動報告及び決算報告、2026(令和8)年度の活動計画及び予算計画等の議案が審議、承認されました。また、今回の総会終結時をもって、長年にわたり運営を支えて来た理事4名が退任することになりました。総会での審議、承認を経て、以下、5名の理事が新たに就任しました。

理事 半澤 隆宏(代表) 理事 齋藤 美和 理事 加藤 麻子(事務局長)
理事 浜田 和彦(副代表) 理事 富田 光

このたび、伊達市民活動支援協議会の代表理事を引き受けることとなりました。市役所のOBという立場ですので、どうなのか…とも思いましたが、気負わずにやれることをやろうと思っています。

支援センターの発足時には現役でしたが、当時とは市民活動の環境がかなり変わってきている印象です。高齢化は当然ながら、AIを含むSNSの一層の普及なども活動に影響しているように思います。新型コロナの影響も少なからずあり、集まるのが減ったり共同体的な活動が停滞していたりとも感じます。

何でもネットで済む時代だからこそ、人と人とのつながりが、より大切になって来るのではないのでしょうか。地域の中で「楽しさ」を感じられる活動があれば、もう少し豊かな暮らしになるかも…かもしれません。そんな一歩の手助けが出来れば、と支援センターでは考えています。微力ではありますが、市民の皆さまと協働して活動していきたいと思っています。「何かしたい」「こんなことで困っている」という方、お気軽に支援センターに来てみらんしょー！

代表理事 半澤 隆宏

伊達市市民活動支援センター

〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsupport.jp
HP: http://www.date-civilsupport.jp/



特定非営利活動法人 伊達市民活動支援協議会が伊達市の委託を受けて運営しています。



だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センター NEWS



2026-1

市民活動 いろは
教えて！だってちゃん

Q.「外来種」って“悪い”ヤツ…？誰がやっつけてくれるの？

A. 脅威になりうる外来種は「入れない」「捨てない」「広げない」(外来種被害予防3原則)

「外来種」は、もともといなかった地域に人間の手によって連れて来られた生き物とのことです。動物、昆虫、植物など約2千種類います。全てが“悪い”とも限らず、農作物や家畜、ペットのように、私たちの生活に欠かせない生き物も含まれます。一方、**地域の環境に大きな影響を与える物**もいます。法律(外来生物法)で飼養、栽培、保管、運搬、輸入、野外への放出などが禁止されている外来種を「特定外来生物」といい、162種類が指定されています(2026年3月末)。

- ★生態系被害：もともといた生き物たちが姿を消す
- ★人の生命・身体への被害：咬まれる、刺される
- ★農林水産業への被害：野菜、果物、魚が食べられてしまう

『福島県外来種ハンドブック』(福島県 2023年3月公表)より
特定外来生物：アメリカミミズ、アライグマ(ほ乳類)アカミミガメ、ウシガエル(両生・爬虫類)アメリカザリガニ、ウチダザリガニ(甲殻類)サビイロクワカミキリ、ツヤハダゴマダラカミキリ(昆虫類)アレチウリ、オオハングソンソウ(植物) など

私たちの生活の脅威になりうる外来種は「入れない」「捨てない」「広げない」ことが重要です。しかし、人にとって良い存在か、悪い存在かは人間の都合によるもので、その判断には私たちのライフスタイルや価値観、自然との向き合い方の変化が関係しています。外来種も生き物です。駆除して(=殺して)おしまいではなく、私たち自身が自分たちの住む地域に関心を持ち、身の回りの生態系や理想的な環境について、地域単位で考え続けていくことが大切だといえます。



だてな活動

想像力の“もと”

私たちの会は2014(平成26)年に発足しました。現在、メンバーは8人。子どものためのおはなし会(月館中央交流館)と高齢者施設でのおはなし会、月館学園小学校での朝の読み聞かせの3つの活動を、それぞれ月1回行っています。伊達市立図書館のわくわくおはなし会(年3回担当)や、近隣の学童保育所、地域サロンに出張しての活動等も随時実施しています。

毎回の活動では、時や場所、対象に応じて違う本を用意します。ポイントは、読み手が読みやすく、聞き



2025年8月
流しそめん

手にとっても見やすいこと。おはなし会は、1人でする読書や、1対1の読み聞かせとは異なるからです。内容については、歳時や年中行事に触れるもの、情緒が動かされ、心が温かくなるようなものでしょうか。日常とは異なる世界に

つきだておはなし会

伊達市月館町月館字ウルシ坊19-1
月館中央交流館

触れた聞き手から、新鮮な気持ちや反応を引き出せたらいいな…と思います。

読み聞かせの後は、子どもたちと工作や遊び、おやつ作り等する時間も設けます。本や体験を通じて様々な人の営みに触れ、想像力の“もと”が培われることが、他者を思う気持ちに繋がるのではないのでしょうか。

地域で成長を見届ける

おはなし会に誰も来てくれなくて、自分達で本を読み、聞き合って過ごしたこともありましたが、参加は次第に増えました。時を経て、よちよち歩きだったお子さんも、気づけば成人を迎えるまでになっています。この活動を通じて、子どもたちとの接点が保たれ、長年に渡る交流が続いています。成長を見守り、見届ける地域の場になっていると感じます。(024-572-2089 齋藤)



2026年6月
割りばし鉄砲



2026年5月
おはなし会

3
すべての人に健康と福祉を

11
住み続けられるまちづくりを

だてな活動

子育て支援の広がり

当社は社員20名の総合建設業です。近年、子育て世代の社員が増え、職場で子育てについて話す姿や、ご家族が子連れで来社される姿が見られています。子どもが来ると社内の雰囲気明るくなり、家族ぐるみで交流を深めるなど、温かなつながりが生まれています。

子育てや仕事に関する悩みを相談しやすく、お互いを理解し、支え合える環境づくりをはかりたいと考え、当社では、2026（令和8）年1月より講師をお招きして子育て講座を開催しています。子育てに役立つ知識を学び、家庭では体験できないワークショップを実施することで、子どもたちも普段とは違う一面を見せる



2026年6月
【第2回子育て講座】アートワークショップ

など、親子の成長につながる貴重な機会になっています。第2回目からは、地域の子育て世代の皆さんにもご参加いただき、一緒に楽

3
すべての人に健康と福祉を

11
住み続けられるまちづくりを

だてな活動

細く、長——く

私たちのグループは1996（平成8）年に発足しました。同年5月発行の手書きの『かすみ草だより』第1号には、「ボランティアは無理せず、できる範囲で、細く、長——く、仲良く楽しくやって行きましょうね!」と書かれています。まさにその通りの活動を続け、いつしか30年が経ちました。メンバーは現在20名。長い付き合いの顔ぶれが並びます。

最初は、公民館や高齢者施設でのボランティア、JR伊達駅周辺の環境美化などから活動を始めましたが、バザーに出店したり、フラダンスを習って交流の場で披露するなど、色々取り組んできました。「こんなことをして欲しい」という地域の皆さんからのご要望。「こんなことをやりたい」という会員の提案。この2つに「無理せず、できる範囲で」対応するのがモットーです。現在は、駅周辺および伊達中央地下道（国道4号線）の美化清掃と、ささえ愛電話事業（伊達市社会福祉協議会）

大沼林産工業 株式会社

伊達市霊山町掛田東陣場21番地 1

2026（令和8）年4月に創業100周年を迎えました。産前・産後休業、育児休業制度取得実績あり（男女）。



OONUMARINSAN

しい時間を過ごすことができました。

互いを気づかうこと

職場とプライベートの関係は、とても難しいものです。相手の領域に踏み込みすぎないことが大切な場面もあれば、状況により、踏み込まなければならないこともあります。また、そうした対応を求められる立場の人もいます。重要なのは、お互いを思いやり、気づかう関係を築けるかどうか。子どもの急な体調不良で会社を休まなければならないこともあれば、台風や大雨、地震などの自然災害のため緊急の対応が必要になり、仕事優先となることもあるのです。

相手の事情に目を向け、互いに支え合おうとする姿勢が人を育て、会社を育てることにつながると考えています。（024-586-1073 大沼）



アートワークショップの様子



1996年頃
発足当時のメンバー

を既定の活動とする傍ら、地域の小学校や障がい福祉事業所、伊達市子育て支援センター等のお手伝いに随時入っています。時代の変遷に伴い、ボランティアが求められる場面や内容は変わっていきませんが、これからも寄せられる要望にはなるべく応じ、引き受けて行きたいです。

コミュニケーションに学ぶこと

活動ではたくさん方と関わります。どの方も百人百様で、コミュニケーションも通り一遍に行くものではありません。その学びを得たことが、私たち自身の宝になっています。どんな世の中になっても、人と人とのコミュニケーションが大切であることに変わりはありません。皆さんもぜひ、それぞれの場面で、様々な方と触れ合う機会を大事にしてください。



2000年
おそろいのエプロンで

3
すべての人に健康と福祉を

11
住み続けられるまちづくりを

だてな活動

S 清水町・U 内町・M 元陣内

サロンSUMは、梁川町の3つの町内会が合同で開催する認知症カフェです。“SUM”は各町内会の頭文字で、Sは清水町、Uは内町、Mは元陣内を表します。

始まりは2024（令和6）年。コロナ禍を経て、かつて身近にあった交流の場が失われたことに危機感を覚えながらも、それぞれの町内会でできることに限界を感じていました。それならば、近いもの同士一緒にやってみては？意気投合した町内会長が合同で認知症カフェを開催したところ、大変な好評を得たのです。

カフェでは、地域包括支援センターの協力のもと、認知症予防について学びます。また、参加者が自由に話をする時間を挟みつつ、梁川町のコーラスグループの合唱や白根万歳など、地域の文化活動や地元ゆかりの才能に触れる機会も設けています。参加者は毎回40～50名ほど。昨年までは年に1回の開催で、今年は2回



SUM の町内会長

サロンSUM

伊達市梁川町字元陣内1番地2
梁川福祉会館

の開催を予定しています。

暮らしに一番近いところ

3つの町内会が携わることで、企画運営にかかる負担が軽減される一方、より幅広い楽しみを皆さんに提供できていると思います。終了後にもオマケのお楽しみがあり、参加者には会場近くの就労継続支援B型事業所が運営するベーカリーのパン券（200円分）が配られます。3つの町内会が費用を分担することで、地域の障がい者福祉に貢献する仕組みも実現しました。

町内会は暮らしに一番近いところにある組織です。町内会がこうした活動を楽しく続けていくことが、住民である私たち自身の健康維持に繋がるのではないかと思います。

（024-577
-0234 田川）



11
住み続けられるまちづくりを

だてな活動

地域に遊び、学ぶ？塾

大田塾は、20～50歳代の地元有志からなる“ゆる～い集まり”です。2023（令和5）年から繋がりができ始め、一緒に活動するようになりました。

寒くない時期は、月に1回、駅や公園、交流館など、大田地区内の公共空間を清掃しています。日曜日の早朝から地域の清掃活動…と聞くと、それだけで身構えてしまう人もいるかもしれませんが、その必要はありません！大田塾には子ども連れで参加するメンバーもいて、先日、阿武隈急行の大泉駅を清掃した時は、駅を通過する電車の運転手さんがポッポー！とガンバレ



2026年6月
阿武隈急行 大泉駅 清掃活動



大田塾

伊達市保原町大田地区内

このピブスを見かけたら声をかけてね！

の警笛を鳴らして応援してくれ、子どもたちも大喜び❤️でした。皆で楽しく掃除して、綺麗になった駅を眺めるのはとても気持ちが良いものです。

楽しく大田を盛り上げる

大田塾は、夏のほばらサマーフェスティバルにも参加しています。かき氷屋を出店し、子どもたちも手伝いに入ります。おかげさまで毎年行列ができるほどの大盛況です！大田塾を通じてたくさんの人に大田を知ってもらい、また大田を好きになってもらえるよう頑張っています。大田が大好き！大田を盛り上げたい！そんな方はぜひ一緒に活動しませんか。

（090-6457-0635 加藤）



（後） （前）
清掃活動用ピブス



2025年8月
ほばらサマーフェスティバル